

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 火曜日3.4限	教室名	801,802
担 当 教 員	齋藤 寛、キャリアセンター	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
学外イベントに参加し、臨床検査技師としての将来像を意識づける。また就職活動に必要なスキル(履歴書、志望動機、自己PRの書き方)を習得し、円滑に就職活動を行うための準備をする。						
《成績評価の方法と基準》						
課題提出、出席状況、授業態度などでの総合評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
臨床検査技師の仕事内容、働く施設などを調べる。履歴書・志望動機などの書き方を調べる。						
《履修に当たっての留意点》						
積極的に学ぶ姿勢を持つ。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	外部講演を聴講することで自らの将来像を見据える。(①)	配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	2023年度 第17回大臨技教育セミナーへの参加			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	外部講演を聴講することで自らの将来像を見据える。(②)	配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	2023年度 第17回大臨技教育セミナーへの参加			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得する。(①)(履歴書の書き方)	配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	履歴書の書き方及び注意点について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得する。(②)(志望動機の書き方)	配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	志望動機を書く際の文章構成及び注意点について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得する。(③)(自己PRの書き方)	配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	自己PRを書く際の文章構成及び注意点について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	実力テストを通じ前期課程で学んだ知識の習得度を確認する。	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	実力テストの実施		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	学外で発表するために必要な知識、スキル及び接遇について学ぶ。(①)	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	臨地実習発表会への参加		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	学外で発表するために必要な知識、スキル及び接遇について学ぶ。(①)	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	臨地実習発表会への参加		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	業界セミナーを通じ、実際に臨床検査技師として働かれている方の話を聞くことで、自身の将来像を明確化する。(①)	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	臨床検査技師の現場(病院・検査センター・健診センター)について		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	業界セミナーを通じ、実際に臨床検査技師として働かれている方の話を聞くことで、自身の将来像を明確化する。(②)	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	臨床検査技師の現場(病院・検査センター・健診センター)について		
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			